

第2回 MONEX 勉強会のお知らせ

国際地球観測特別委員会
GARP 分科会・MONEX 作業委員会*

先に第1回 MONEX 勉強会を開催し、非常に盛況でしたが、そのときの様子は「天気」4月号に報告した通りです。また、同時に MONEX の JOC** consultant になられたハワイ大学の村上多喜雄氏のコメントも掲載しました。MONEX study group は、その後 MONEX 作業委員会として正式に発足しました。

MONEX については、国際的にも活発な議論がみられるようになり、4月末にアメリカ国内の勉強会がプリンストン大学の GFDL*** で開かれました。また、最近は海洋方面からの積極的な参加の動きも出てきて、総合的な科学研究計画になりつつあります。

過日、東京で開かれた AMTEX の第3回研究会議のとき、こうした国際的な進展をふまえた上で、日本として MONEX にどう対処したらよいか非公式に討議するため、MONEX 作業委員会を開きました。オブザーバーとして、NCAR (米国立大気研究所) の笠原彰氏にも参加して頂き、いろいろとコメントして貰いました。また、気象研究所の齋藤予報研究部長と丸山研究官にも参

加して頂きました。(広田勇氏の京都大学転任に伴い、今後更に齋藤・丸山の両氏にも委員をお願いするようになりました)

当委員会では、当面情勢が流動的で、特に観測計画の方は見通しをたてにくいという判断をとりましたが、モンスーンはわが国としても梅雨などとの関連で大切な意味をもつと思われまふ。別の観点からいうと、AMTEX が冬の北西モンスーンに伴う気団変質の研究観測計画とすれば、MONEX は初夏の南西モンスーンの研究に関連しているとも考えられます。また、大気と海洋の相互作用の重要性から考えて、今後は海洋も含めた計画をたてるべきだと考えます。

こういった見地から、各自の研究方針を発表しあう第2回 MONEX 勉強会を8月30日(金)10時より気象庁で、学会講演企画委員会と共催で開くことにしました。そこで、第2回 MONEX 勉強会で発表して頂く研究方針や研究成果を募集します。メ切は8月10日(土)としますので、応募者はそれ迄に下記へ発表申込みをして下さい。氏名、講演題目、スライドの有無をお知らせ下さい。

【申込み及び連絡先】

気象庁予報部電子計算室 菊池 幸雄
新田 尚

T E L (03) 212-8341 内449

- * 岸保 (東大), 齋藤 (気研), 朝倉 (気象庁), 広田 (京大), 丸山 (気研), 新田 (気象庁)
** GARP の中心機関 Joint Organizing Committee の略。
*** Geophysical Fluid Dynamics Laboratory/NOAA の略。

第21回風に関するシンポジウム講演募集

標記シンポジウムを下記により開催致しますので講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1974年11月下旬
2. 会 場：気象庁講堂（東京都千代田区大手町1の3の4）
3. 共催学会：地震学会・土木学会（幹事学会）・日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空宇宙学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会

4. 講演申込締切期日：1974年8月31日
5. 講演申込方法：題目、講演者氏名（連名の場合は講演者に○印をつける）、勤務先、連絡先住所、所属学会を明記し、100字程度の内容梗概を添付して幹事学会（土木学会）または所属学会宛お申込み下さい。
6. 講演時間：1講演15分程度
7. その他：前刷集は作成致しませんのでご了承下さい。